

令和4年度 第9回 運営会議ニュース

日 時	令和5年1月8日(日) 13:30~15:00
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター(レクチャールーム)
出 席 者	10名

～議題～

各ゾーンエリアの管理について(各団体等からの報告事項)

●グリーンタフ・谷戸山公園グループ

間近に迫った正月にちなんだ縁起物の植物を中心とした観察会となった。ナンテン(南天)は「難を転じる」から来ていて、三回三出羽状複葉で他にあまりない。ヒノキの葉を食べ物に敷くのは「搔敷」と呼ばれ抗菌作用がある。縁起物のマンリョウは葉の鋸歯に窒素固定菌がある。ヤナギは正月の「祝箸」に使われるが、折れにくくアスピリンの原料サリシン(抗菌剤)を含み、昔は「総楊枝」として歯ブラシに使用された。キブシの実はお歯黒に使われ歯周病に効果があった。門松の起源は平安時代に幼木を抜いて門の脇に刺した「小松引き」だといわれている。門松の竹の切り方が寸胴と斜めがあるが、家康が唯一戦に負けた武田の首を見立てて斜めに切ったといわれる。また、斜めに切るのは商人が首を切るのは不吉なので寸胴にしたといわれる。

●ふるさとフォーラム座間

ショウブ田に霜よけ防止の敷き藁を敷いた。

●ホタルを守る会

12月9日に防災井戸上流の草刈を実施した。水路周りの除草と泥上げを行いブルーシートに除草屑を置いたので片付がはかどった。昨年のホタルは最大日を精査したところ139頭→142頭だった。

●谷戸山自然ボランティア

・ログハウス裏ビオトープ池の落ち葉掻きを12月16日に行った。12月29日に設置したシジュウカラの4箱を確認した。営巣は1箱で、1箱は途中放棄し、残りの2箱は使用されなかった。

その他

●神奈川県厚木土木事務所東部センター

・ナラ枯れ伐採工事は、工事を追加したので2月末まで工期を延伸した。

(委員)伐採後のあと片付けでは、植物保護と景観保護を留意して欲しい。

・木道の改修工事は完了したが、追加で仮設の手摺りを設置した。

・わき水の谷の泥上げを予定しているが予算の関係で全部は出来ない。

・わき水の谷の丸太の土留め柵は、予算が残れば実施出来るかもしれない。

●公園

・ログハウス池に定期的に給水を行う給水タイマーを設置した。

・パークセンター・里山体験館のモニターに四季の解説パネルに使用の写真のスライドショーにした。

・野鳥の原っぱ下の水たまりを掘り土手を作り新たなカエル沼(4号)にし、カエルやトンボの生息環境を増やしたい。

・本日公園利用者の方から野鳥の巣箱を寄贈してもらった。今後園内に設置して管理したい。

次回開催日時 3月12日(日) 13:30~15:00

※運営会議後の進捗状況や最新情報も必要に応じて記載しています。※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。